



謹賀新年

旧年四月に深田三郎理事長から播川司氏にバトンを引き継いで、第4代目の新理事長のもとで2018年の新春を迎えました。前理事長のもとで木津川河川協力団体の承認がされ、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所から木津川希少種植物調査業務が発注されて、里山の会が保安全管理調査業務を行うことになり、長年の願いが実現しました。画期的な事業展開に成功しました。新年にはその責任がこれまで以上に大きく伴うことになります。心新たに画期的な取組みが本格化する新年を迎えました。会員各位のご協力をお願い申し上げます。

年末12月には木津川河川敷(15km)に写真のような中聖牛の設置を延べ315人努力で完成、増水時における護岸効果と水制性能の効果が期待されます。近年人口減少による影響がみられ、里山の会も同様の悩み克服が新年度の課題で、あらゆる機会をとらえて課題克服に向かうことになります。河川レンジャーでは昨年に中西佳代さんそして今年村上ゆいさんが任命され、若返りました。大変うれしい門出となっています。そして何よりも週刊ニュースが700号を突破したことです。さらに読みやすくわかりやすく、そして会員各位に予定と実績を伝え、里山の会の活動をスピードをもって伝えることに力を尽くしていく決意です。ところで隣国北朝鮮の大陸間弾道弾発射や核兵器開発、そして憲法改正の動きが際立ってきています。まさに平和への危機が迫り、世界に対する日本の役割が73年前に引き戻されるような流れになっています。自然を大切にする仲間の輪を大きくすることに全力を尽くすことが緊急の課題でもあります。皆様方のご協力をさらにお願ひして、新年の挨拶といたします

2018年正月吉日 播川司と理事一同

●**八千代エンジニアさんが来所** 12月27日 年末押し迫って27日、昨年木津川河川敷に繁茂する竹の処理のための提案に来所されましたが、その後対応が無くなっていましたところ、社内での合意があつて、再度実行することになった。ご協力をいただきたいとの申し入れでした。国交省の見解は工区誘致の資材を、営利目的を持つ企業に提供することはできないのが原則との方針で、取り組みがとん挫しました。そこで河川レンジャーや河川協力団体などの非営利団体を前面にした計画なら、考慮の余地があるとの教訓を生かすので、という申し出がありました。播川司、村上ゆい、深田三郎、山村武正が対応しました。席上カスミサンショウウオ生育地での温度気温水位の自動測定器具の提供にも話が及びました。

●**薪割機が納入** 31日 能力7t 無節の30cm丸太は軽々と割れる 威力抜群 自重＝80kg 電動式100v
ナラ枯れ木の処理に大きな障害となっていた重量対策として薪割機で運搬や取り扱いの軽減のために薪割機の購入を検討してきましたが、性能がいいものは自重が280kgなので随分と悩みましたが、少し性能が悪くても早期に処分が進むようにと20tから7t(自重80kg)に落ち着き、ムサンで注文しました。正月明けの発送とのことでしたが、30日に入荷したとの連絡で大晦日に深田さんと受け取りに行き、早速試行を行いました。予想通り節目のものはストップがかかりますが、通常のは順調に作業が進みます。新年第一回目の事務局会議終了後新運転を披露いたします。順調に割ることができればカスミサンショウウオの隠れ家にしようと思います。

●**七草摘み ご参加を** 6日 集合:10時普賢寺小学校前 スタッフ集合9時里山農園 終了時間13時
年明け最初の取り組みが「七草摘みと七草かゆ」で、雨天と寒風に影響されなくてほとんどの七草が採取できる里山農園・教育棟に移して4回目の取り組みとなります。こぞってお越しください。

●**カスミサンショウウオの池 水温水位気温自動測定器設置** 八千代エンジニアさんが提供 6日に実行予定
先にもお知らせいたしましたが、測定器の提供がありますので、6日に設置を行いたいと思います。関係者と関心をお持ちの皆さんにはご協力をお願いいたします。準備に問題が無ければ七草摘みと七草かゆのイベント終了後に設置予定です。人数が揃えば隠れ家用の木片も数十個投入するつもりです。

●**週刊ユース700号発行を祝う会 1月5日に開催** 継続発進発行にかかわっていただきました皆さんの功績に感謝状を贈呈いたします。 連続発信・功労者、連続手配り・功労者に感謝状贈呈予定者＝**発信功労者** 白木弘一 伊藤千恵子 坂田一郎 **連続手配り功労者** 山本雅晃 黒光輝政 森島保 森幾久子 大村幸正

●**播川司理事長から年賀状が届きましたので紹介します**

謹賀新年

2018年新年あけましておめでとうございます。皆様ご家族お揃いで良いお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。
今年は戌年、「犬も歩けば棒に当たる」ということわざがありますがいい方の解説は動きまわっているうちに思いがけない幸運に出会うとの例えにも使われるそうです。何事にも一歩、一歩みんなの力を合わせて前へ前へ進んで行きたいと考えております。昨年の10大ニュースが発表されましたがその中から主なものはカスミサンショウウオの成体発見、国土交通省淀川河川事務所から木津川に生育している希少植物の管理業務を受注しました。

新人レンジャー村上さん誕生、中西さんと活躍期待、年齢も若返る。等々みんなの力で 頑張ってきました。

1月5日には週刊ニュース700号の祝賀会を開催致します。午後から器作りも行います。1月6日には七草かゆ、2月4日には第35回木津川マラソン大会等々忙しくなります。寒さ厳しい所ですが、元気で活動できることを感謝しながら健康に注意を払い進んでいきたいと思います。自然を大切に仲間との輪を大きくする活動にまい進しましょう

また、新しい提案もある業者から持ち掛けられております。それは、木津川河道敷内に生育している竹の利用方法についてです。里山の会の活動が続いてきたからこんな相談ももちかけられる様になりました。活動に自信をもって取り組みましょう。この一年が皆さんにとって素晴らしい年になりますように期待をしております。 2018年1月4日 やましろ里山の会 理事長 播川 司

● 「丹波の黒豆乃味噌づくり」募集します 昨年は諸般の事情で作れませんでした、希望者がおられました開催します。
5kg:6000円 前日に豆の皮を剥いていただければ作ってきます。800グラムの塩と蓋つきの入れ物を準備ください 申し込みは里山の会までお願いします。なかなか地元丹波の黒豆の生産者が少なくなって、確保が難しくなっています。福知山市夜久野町末の堀島農園さんのご厚意で何とか準備をいただいています。もちろん自家生産の米麴を使った水も地元産を使っています。次号で詳細は連絡いたします。食していただければ本当に美味しいとお喜びいただけます。